

第40回 大阪市人権施策推進審議会 会議要旨

1 日 時 令和2年2月20日(木) 午前10時～12時

2 場 所 市役所地下1階 第11 共通会議室

3 出席者

(審議会委員)

- ・木下吉信 ・佐々木りえ ・杉田忠裕 ・鈴木暁子 ・高山直樹
- ・辻川松子 ・妻木進吾 ・前田直子 ・(会長代理) 三成美保
- ・宮本京子 ・(会長) 山西美明 ・和田芳香

(事務局)

- ・田丸市民局理事 ・山本ダイバーシティ推進室長 ・森人権企画課長
- ・藤本多文化共生担当課長 ・古武共生社会づくり支援担当課長
- ・北邑人権啓発・相談センター所長 ・姫野人権企画課長代理

- 4 議 題 (1) 大阪市人権行政推進計画に基づく令和元年度の取組状況について
- ア 「人権が尊重されるまち」指標(令和元年度版)(案)について
 - イ 人権啓発の取組みについて
 - ウ 人権相談の取組みについて
 - エ L G B Tなどの性的少数者にかかる取組みについて
- (2) 個別の課題について
- ア 大阪市多文化共生指針(仮称)の策定について
 - イ 大阪市犯罪被害者等支援に関する条例(仮称)の制定について

5 議事要旨

- (1) 「人権が尊重されるまち」指標(令和元年度版)(案)について説明をした。委員から、指標の(5)同和問題(部落差別)について、就職差別の現状認識や住宅を選ぶ際の忌避意識の数値が上がっている点について、しっかりと対策を練るべきといった意見があった。
- (2) 令和元年度の人権啓発および人権相談の取組みについて報告した。委員から、毎年行っている人権啓発・相談センターの事業にかかる効果検証会議でどのような意見があったかについて、当審議会の場においても報告するよう要請があった。

- (3) L G B Tなどの性的少数者にかかる取組みについて、令和元年度の取組み状況および、課題と今後の対応について説明をした。
- (4) 大阪市多文化共生指針（仮称）の策定について、外国人材受入環境整備の検討のため実施した各アンケート調査の概要および大阪市多文化共生指針（素案）について説明をした。委員から、人権が尊重され、外国につながる人を選んでいただけるまちになるといった理念を打ち出し、生活支援や福祉などについてはアウトリーチの視点も大事といった意見があった。
- (5) 大阪市犯罪被害者等支援に関する条例（仮称）の制定について、条例案および条例にかかる各種支援事業案について説明をした。委員から、支援の対象者の範囲について質問があった。

6 会議資料

- 資料1 「人権が尊重されるまち」指標（令和元年度版）（案）
- 資料2 令和元年度 大阪市人権啓発・相談センターにおける啓発事業の取組みについて
- 資料3 大阪市人権啓発・相談センターにおける人権相談の取組みについて
- 資料4 L G B Tなどの性的少数者にかかる取組みについて
- 資料5 - 1 外国人材受入環境整備検討調査について（各アンケート調査の概要）
- 資料5 - 2 大阪市多文化共生指針（素案）について
- 資料6 大阪市犯罪被害者等支援に関する条例案／条例にかかる各種支援事業（案）